



# い～ねだより

2025年7月2日

認定NPO法人じゃんけんぽん  
企業主導型保育 い～ね保育園

## 基本理念

『たくましく生きる力』

## 保育目標

『自ら感じ考え自分と周りの人を大切にする心を育てます』

『基本的生活習慣を身につけ、心身ともに調和のとれた幼児を育てます』

『地域の人とのかかわりやふれあいを大切にし、かけがえのないつながりを創っていきます』

『一人ひとりの子どもを十分に愛し、子どもの個性を受け止め、伸ばしていきます』

## 7月のテーマ

『水とあそぼう』

## みなさんと握手

い～ね保育園には高齢者介護事業所が隣接しています。赤ちゃんの頃から園に通っている2歳のAちゃんは、最近お隣のご利用者さんに自分から近づいてコミュニケーションを取りたがっています。

ある日「お隣に遊びに行く人～？」と保育士が誘うと行く気満々のAちゃん。この日は他の子は水遊びに夢中で行きたい人が1人でしたが、Aちゃんは1人でも行くと強い意志で向かいました。

室内に入りAちゃんを見るとおじいちゃん、おばあちゃん達の表情がパッと明るくなり、何度も「かわいいね～」「かわいいね～」と声を掛けてもらいました。けれど固まってしまったAちゃん。

「何歳？1？2？」と聞かれると「2」の時に頷いていて、関わりたい気持ちは見えます。

おじいちゃんのところへ行くとおじいちゃんが先に手を出してくれたので、Aちゃんも少しずつ少しずつ手を伸ばして握手。緊張しながらも途中からは自分からみんなの所へ近づいて行き、全員のおじいちゃん・おばあちゃんと握手をすることができました。みなさん笑顔で握手をしてくれました。



おばあちゃんが椅子に座って両手を広げて待っていると、自分から駆け寄って抱っこもしてもらいました。ひとしきり過ごしたので保育士が「保育園に帰ろう」と声をかけても「やだー」とまだ居たい様子。なので、最後は抱っこしてくれたおばあちゃんと手をつないで園庭まで送ってもらいました。

緊張はありましたが、Aちゃんがおじいちゃん・おばあちゃんのことが大好きなのが伝わってきます。

子ども達にとって、存在を無条件に認めて喜んでもらえるということが、どんなに大切なことなのかと気づかされるひと時でした。かわいいね、と言われるのが素直に嬉しいのかもしれないし、自分が近くに行くとお年寄りが喜んでくれると感じているのかもしれません。

核家族でお年寄りとの交流する機会が少ない子が増えているので、子ども達にとっては関わりが持てる良い機会でもあり、お年寄りにとっても笑顔があふれる時間を過ごしてもらっているかなと感じます。すぐ隣に高齢者の事業所がありたくさんの交流ができるのもい～ね保育園の強みの一つでもあるので これからもお互いに交流し続け、良い関係が築けていけたらと思います。